

JJA本渡五和女性部

JJA本渡五和は、周りを海に囲まれた天草の中央に位置し、温暖な気候を活かしてポンカンやデコポン、晩柑等の柑橘類や、レタス、馬鈴薯、オクラ、イチゴ等が生産されています。我が女性部は、黒川紀世子部長率いる12支部480名の部員で構成されており、部員の高齢化や減少が進む中、様々な活動を行っています。

○《アグリキッズスクール》

小学生を対象に開校するアグリキッズスクールでは、子供達に食育の一環として、自分達で稻を育て、収穫したもち米を使ってもちつき・もち丸めの体験を行っています。

また、女性部の指導の下、郷土料理の「だご汁」や、さつまいもと餅をついた「ねつたづくり」を伝承しています。



▲調理に興味津々の子ども達

たお客様に各地先着200名へ手渡し、PRしました。



▲お揃いのシャツに身を包み「地元のお米を食べて」とPR

○ミニデイサービス

65歳以上の方を対象に、健康維持を目的としてレクリエーションを年2回行っています。

認知症予防にトランプやパズルを用いた「脳トレーニング」や女性部の日舞を観賞して楽しみました。

食事は、地元の食材を用いて女性部が健康を考えたメニューを全て手作りしており、利用者の方に大変喜ばれています。



▲自慢の簡単料理を提案



▲熱心に『脳トレパズル』に挑戦中

○野菜の促進販売

8月31日「野菜の日」にちなんで、地元で生産される野菜とエーコープマーク商品を使った料理を試食してもらい、レシピ8品を紹介しました。

スタッフやうらや、なすときゅうりのからし酢漬けなど簡単で、ちょっと違った味付けや、調理の仕方に「どうやって作るの?」と買い物客から次々と声をかけられ、地元の方との交流に一役かっています。



▲講演する蒲島郁夫熊本県知事

講演は、熊本県知事の蒲島郁夫氏による「熊本地震からの創造的復興／決断・目標・対応の政治学」と題し、今回発生した熊本地震後の状況と対応、今後の復興に向けた目標を、自身の幼少時代、厳しい環境から「夢」を持って逆境に立ち向かい、知事になるまでの生き立ちになぞって述べられ、熊本の明るい未来への期待と勇気をもらいました。

○基本農政研修会